保護者各位

伊那市長　白鳥　孝

日本脳炎（第２期）ワクチン定期予防接種のお知らせ

予防接種法に基づく定期予防接種を実施します。予防接種はお子さんを病気から守るため、また周りへの感染症の拡大を防ぐために必要なものです。予防接種の目的や内容をよく理解した上で、お子さんの体調の良い時に受けましょう。

1	**接種期間**	９歳～13 歳の誕生日の前日
2	**標準的な接種期間**	９歳に達した時から 10 歳に達するまで
3	**接種回数**	１回
4	**接種場所**	別紙「予防接種協力医療機関」日本脳炎に〇印のある医療機関 **※医療機関に予約をしてから接種してください。**
5	**持 ち 物**	予防接種予診票（伊那市発行のもの）・母子健康手帳
6	**費　　用**	無料（公費負担）※対象年齢を過ぎると実費になります。

7　日本脳炎とは

日本脳炎ウイルスの感染で起こります。

飼育されているブタの体内で増えたウイルスが蚊（コガタアカイエカ）によって媒介され感染します。潜伏期は７～10 日で、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれん等の症状を示すウイルス性の急性脳炎です。ヒトからヒトへの感染はありません。

感染した人のうち、100～1,000 人に１人が脳炎を発症すると考えられています。脳炎にかかった時の致命率は約 20～40%ですが、治った後に神経の後遺症を残す人が多くいます。

近年は西日本の高齢者を中心に発症していますが、若年者の発症も見られます。

8　予防接種の効果

第２期の接種は、第１期の抗体のレベルを維持するために必要です。日本脳炎１期の予防接種をしていない方は３回接種（有料）をしてから２期を接種すると必要な抗体が得られます。

9　ワクチンの副反応

主な副反応は、発熱、せき、鼻水、接種部位の腫れなどです。ごくまれに、重大な副反応としてショック、アナフィラキシー様症状、けいれん、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）などの重大な副反応が起こることがあります。重篤症例の発生頻度は、0.0007%です。

（令和７年１月第 105 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料より）

R7．４．１

＜お問合せ先＞伊那市役所健康推進課予防係　電話０２６５－７８－４１１１　内線２３３２